

懇親会では 尽きぬ回顧談

総会に引き続いて、懇親会が二階「安土の間」で開かれました。

千福消防局長を始め、現職の賛助会

全会一致で議案承認

総会に先立ち、出席者全員で物故会員の御霊へ黙祷が捧げられました。岡会長から開会の挨拶があつたあと、松浦副会長の司会で、議案審議に入りました。この日審議された平成 25 年度事業計画等すべての議案は、異議なく全会一致で承認されました。

今年度は、役員改選の年ではありませんが、欠員補充等による一部役員の交代が報告されました。役員については別表(二面掲載)をご覧ください。

平成二十五年度 清風会総会開催

今年度の総会は、東日本大震災や福島第一原発事故の復興・対策に向け努力が続けられている社会情勢のなか、4月12日に行われた役員会や5月10日に開かれた理事会の後をつぎ、6月21日(金)午後5時半から、中央区の「グイアー」大阪で、68名の会員の出席をいただき開催されました。

大阪消防清風会報
(第 52 号)

発行

大阪消防清風会
大阪市西区江戸堀1丁目24番18号
(財)大阪市消防振興協会の内
TEL (06) 6444-2155

発行人 岡 武男



員にも多数の出席をいただき、田村副会長の司会で消防局幹部の紹介が行われました。続いて千福局長の乾杯の発声で懇親会が始まりました。各々の座席配置は、懇親会を通じ参加者に広く親交を深めていただくため、例年どおり「くじ」で決められました。その甲斐もあつて会員や賛助会員が入り交じりながら、今年も東日本大震災復興支援として「東北の名酒」を愛でつ、懐かしい思い出話や近況について軽やかに語り合う姿が、会場のあちらこちらで見受けられました。

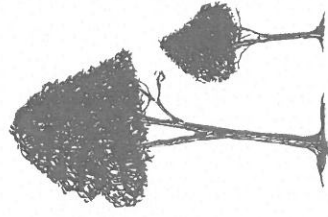
宴もたけなわとなり、和気あいあいだった会場の雰囲気は少しずつ熱気を帯びだした頃、ビンゴゲームが始まりました。昨年に引き続き山中副会長のウイットに溢れる司会に、みな思わず笑いの世界に引き込まれ、会場は一段と盛り上がりました。山中副会長のサービス精神溢れる進行により、あちらこちらでは参加者の「リーチ」や「ビンゴー」といったかけ声が

飛び交い、各々景品を手にした当選者は、童心に帰つたような笑顔に戻っていました。楽しかつたひと時は、またたく間に中締めを迎え、来年の再会と参加者各位のご多幸とご健勝を祈念し、盛会裏に懇親会を終えることができました。

(事務局から)

当日はお忙しい中、また生憎の空模様にもかかわらず、昨年を上回る総会・懇親会に多数のご出席をいただきありがとうございます。来年も更に多くの会員の皆様のご参加を心待ちにしております。

◎



『災害活動支援隊』

特別訓練を実施

警防部警防課

平成 24 年 11 月 21 日(水)～12 月 8 日(土)及び平成 25 年 2 月 10 日(日)～18 日(月)の計 17 日にわたって、大阪市消防局、西消防署及び阿倍野消防署において災害活動支援隊の「特別訓練」を実施しました。

特別訓練は、東日本大震災を踏まえ、内閣府から公表された「南海トラフの巨大地震による被害想定」や現在の消防局の警防活動体制などを研修することで、災害活動支援隊員と消防職員が協働し、より円滑な活動を行うことを目的として実施しました。

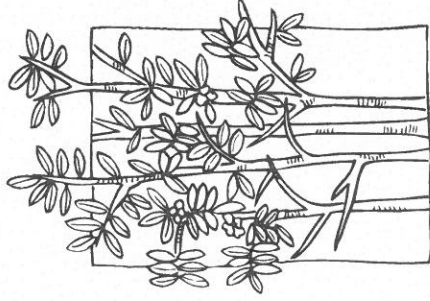
本訓練は、災害活動支援隊として初めての試みでしたが、500 名以上の支援隊員が参加し、多くの支援隊員から非常に有益であつたとの意見をいただいております。当初の目的を達成することができました。



大阪市消防局においても大規模な災害発生時に災害活動支援隊員が安全に活動し、消防職員と協働して円滑な活動ができるよう、今後とも研修や訓練を継続していきたいと考えています。

災害活動支援隊の先輩方におかれましては、今年度も訓練参加等にご依頼させていただきますので、ご協力とご理解を賜りますよう本紙を借りてお願い申し上げます。

(今村)



平成24年度歳入歳出決算報告

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

1 歳入金	4,028,354円
2 歳出金	4,028,354円
3 差引残高	0円

歳入の部					(単位円)
款 項 目	予 算 額	収 入 額	予算額に比し増△減額	備 考	
1 会費	2,751,000	2,126,000	△ 625,000		
1 会費	2,751,000	2,126,000	△ 625,000		
1 定額会費	1,000	0	△ 1,000		
2 終身会費	750,000	750,000	0	75名分	
3 総会会費	2,000,000	1,376,000	△ 624,000	172名分	
2 繰入金	100,000	297,741	197,741		
1 繰入金	100,000	297,741	197,741		
1 繰入金	100,000	297,741	197,741	積立金より	
3 雑収入	1,280,000	1,229,500	△ 50,500		
1 雑収入	1,280,000	1,229,500	△ 50,500		
1 広告料	210,000	179,400	△ 30,600	5件分	
2 雑収入	150,000	190,100	40,100	分担金、手数料利息	
3 寄付金	920,000	860,000	△ 60,000	叙勲者	
4 繰越金	375,000	375,113	113		
1 繰越金	375,000	375,113	113		
1 繰越金	375,000	375,113	113	平成23年度より	
歳入合計	4,506,000	4,028,354	△ 477,646		

平成25年度清風会役員一覽表

平成25年5月10日現在

役職	氏名	役員数
会长	岡 武男(木津川市)	1
副会长	松浦 力(河内長野市) 田村 正英(熊取町) 山中 優(東住吉区)	3
名誉顧問	國本 篤弘(宝塚市) 新堂 衛(岬町)	2
顧問	深澤 修(守口市) 南元 秀彌(豊中市) 十河 將博(阿倍野区) 岡本 吉晃(平野区)	7
	池田 勲(奈良市) 本城 光一(堺市) 森口 清太郎(八尾市)	
監事	村上 勝(御所市) 吉谷 弘行(鶴見区) 村田 勉(堺市)	3

支部役員

支部名	常任理事・支部長	理 事	役員数	新会員	24年度 会員数
東	吉本 昭伸(平野区)	山中 優(東住吉区) 西村 葵(生野区) 松本 知(東住吉区) 本間 茂男(城東区)	5	5	140
西	南 弘一(港区)	赤松 英司(此花区)	2	1	28
南	鈴木 芳夫(阿倍野区)	松本 憲人(阿倍野区) 池崎 政孝(住之江区)	3	2	75
北	万木 良章(都島区)	家田 治(都島区) 川戸 重次(東淀川区) 中西 正則(都島区)	4	5	73
北 摂	植田 晃(箕面市)	浪江 圭一(高槻市) 北村 泰将(豊中市) 中居 徳夫(吹田市)	4	7	115
北 河 内	吉川 幸一郎(大東市)	西田 賢一郎(寝屋川市) 三宅 靖衛(寝屋川市)	3	3	119
中 河 内	辻本 貞昌(八尾市)	高橋 勲(八尾市) 平田 繁(東大阪市) 吉川 秀司(東大阪市)	4	2	79
南 河 内	松浦 力(河内長野市)	大谷 融(富田林市) 大北 雅史(河内長野市) 田葉 勇(大阪狭山市) 保田 明(松原市) 大門 孝至(富田林市)	6	6	248
阪 南	大山 正(泉佐野市)	久保 正敏(和泉市) 萬谷 信幸(熊取町) 芳村 京治(堺市) 小林 晶治(貝塚市) 後藤 敏明(堺市)	6	14	240
奈 良	高垣 新平(香芝市)	磯田 恭司(上牧町) 奥森 喬(宇陀市) 藤本 忠行(奈良市) 小林 洋一(大和郡山市) 田尾 一(橿原市) 杉田 正利(大和高田市) 原田 勝正(田原本町) 志賀 幸雄(河合町) 村田 正廣(広陵町) 大井 英雄(広陵町)	11	8	203
東 日 本	橋本 隆雄(名張市)	坂 奨(名張市) 中川 進(名張市) 中村 教章(橋本市)	4	6	85
京 滋	井上 一雄(木津川市)	櫻田 正昭(城陽市) 上田 勝啓(宇治市) 吉村 公男(木津川市)	4	0	58
西 日 本	椿 隆助(神戸市)	萱原 勝治(神戸市) 石山 旻(神戸市) 生田 輝美(伊丹市)	4	13	153
1 3 支 部	常任理事・支部長13名	理 事 47名	60名	72名	1616名

情報誌「そなえ」がリアルタイムで情報を発信

知ろぅ
学ぼぅ
備えよう

会協理防火市阪大 人法団社

7544-0021

大阪市生野区勝山南4-7-11 大阪市消防局 生野分室内

電話 (06) 6741-2130 FAX (06) 6712-2130

E-mail info@sonae.or.jp <http://www.sonae.or.jp>



京 滋

支部総会・懇親会開催

平成 24 年度の京滋支部総会が 11 月 17 日(土)木津川市の当番で京都府南部の笠置山の料理旅館「松本亭」で行われました。当日は、小雨が降っていましたが、笠置寺を拝観する方や笠置山の紅葉が見頃で散策される方又旅館でゆつくりお風呂を楽しまれる方等、それぞれが総会開会まで自由に時間を過ごしました。

総会に先立ち 24 年

秋の叙勲者 1 名をお祝いし、当日参加した新入会員 2 名を紹介した後井上支部長からあいさつを頂き、総会審議に移りました。本年は、役員について改選はなく支部長以下全員留任となり、総会は盛会の内に終了しました。引き続き懇



(吉岡)

親会に移り 22 名の会員が牡丹鍋やきじ鍋で舌鼓を打ちながら現役時代の話に花が咲き、2 時間にわたって楽しいひと時を過ごしました。

(志賀)

来年度の総会は、5 月 18 日(日)に開催予定です。奮ってご参加をお待ちしています。

南河内 支部総会開催

平成 25 年度総会が、5 月 18 日(土)の 11 時から、藤井寺市の「こもだ」に於いて会員 41 名が出席し開催されました。総会は大北副支部長の司会で、開会のことばのあと、出席者全員で物故会員の御霊へ黙祷からはじまりました。

松浦副会長の挨拶のあと議案審議に入り、この日審議された平成 24 年度の事業報告、決算報告及び平成 25 年度事業計画案、予算案等すべての議案は、異議なく全会一致で承認されました。

議事では、平成 24 年秋及び平成 25 年春の叙勲受章者 6 名への記念品の贈呈と南

河内支部新会員の紹介、そして、本年は役員改選の年ではなかったものの、辻井副支部長が急逝されたため、その後任として、大門孝至理事が新副支部長に選任され、新たに理事として、藤本伊三美氏と林誠二氏が選任されることが報告されました。

最後に、恒例となつております今年度の親睦旅行及びゴルフコンペの実施日も発表され閉会となりました。

その後懇親会に移り、中部地区消防本部の消防長の松原市消防本部消防長の御祝辞をいただき、中田顧問の



(門林)

乾杯の発声で始まり、旧友、酒を愛でつづ、懐かしい思い出話や近況について軽やかに語り合う姿が、会場のあちらこちらで見受けられました。なか、宴もたけなわとなり、和気あいあいと楽しかつたひと時は、またたく間に中締めを迎え、来年の再会と会員の皆様のご多幸を祈念し、盛会裏に懇親会を終えることができました。

(久保)

来年の総会も元気に姿で参加する事を約束して盛会裏のうちに閉会となりました。

来年度の総会も元気に姿で参加する事を約束して盛会裏のうちに閉会となりました。

総会は、大山支部長のあいさつで始まり、新堂顧問のユーモア溢れる祝辞をいただきました。続いて行われた懇親会ではお互いの健康を称えあ

き、参加者同驚きと感謝の気持ちでお迎えしました。

奈 良

支部役員会・総会・懇親会開催

平成 25 年度の奈良支部総会が、5 月 19 日(日)10 時 30 分から役員会がはじまり、引き続き総会が奈良市



▲旧交を温め歓談される会員諸氏

内の「ホテルフジタ奈良」において開催されました。当日の参加者は役員会が 8 名、総会は 36 名の会員が参加されました。

総会は物故会員に対する黙祷からはじまり、新会員の紹介、高垣支部長の挨拶及び消防の主な動きについて説明の後、議案審議が行われました。予定された議案は満場一致で全て議了され、支部長以下が再任、

新役員として中井健二氏が庶務担当の理事として選任されました。

続いて懇親会が行われ、はじめに寺田顧問の「人の欲の話」で座が和んだ後乾杯に移り、旧交を温める懇親会が進められました。若手代表として、若い奥さんと結婚された毎川雅康氏から「新婚のろけ話」が飛び出すと、会是最高潮に盛り上がり、原田顧問の本締めに御開きとなりました。

来年度の総会は、5 月 18 日(日)に開催予定です。奮ってご参加をお待ちしています。

阪 南 支部総会開催

平成 25 年度総会が、7 月 30 日(火)猛暑のなか岸和田市の「五風荘」で開催されました。



阪南支部は、会員 240 名を超える大所帯ですが、当日は仕事関係の都合で欠席の方々が多く、31 名の参加者となりました。しかし、米寿を迎えられた大先輩にも参加をいただ

『清風会ゴルフ同好会』第 19 回ゴルフコンペを開催しました

平成 25 年 5 月 17 日 (金曜日) 大津カントリークラブ・西コース 《参加 22 名》

皆様お気軽にご参加ください、ゴルフを楽しみましょう！

◎参加を希望される方は北支部大久保までご一報ください。

■携帯電話：090-8793-2741
■メール：akitan - 1141 - des@docomo.ne.jp

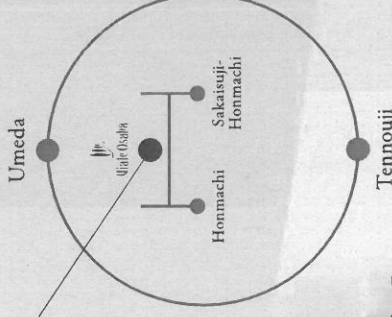


優勝	中東 恵三	ドラコン賞	中東 恵三
準優勝	角園 一男		恵三 之明
3 位	吉川 利夫		新堂 保田 英雄
バスグロ賞	角園 一男	ニアピン賞	藤田 俊光
特別賞 (エージュー)	角園 一男		三宅 靖衛
			保田 五味

●中東恵三氏が優勝！(グロス 84、ネット 70.8)
●角園一男氏がエージュー達成！(年齢 73 歳、グロス コア 73)

大阪の真ん中、本町に集う。

ヴァーレー大阪は、ご宴会・パーティーの基点にふさわしい好立地に加え、和洋スタイルに合わせて、お料理はもちろん各種宴会場をご用意しております。



ご宴会 Party

ご予約・お問い合わせ
TEL. 06-4705-2411 (代)
www.viale-osaka.com

〒541-0052 大阪市中央区安土町 3-1-3
FAX. 06-4705-2422

地下鉄御堂筋線「本町」駅 1 号出口より東へ徒歩 3 分
地下鉄御堂筋線「南本町」駅 17 号出口より西へ徒歩 5 分



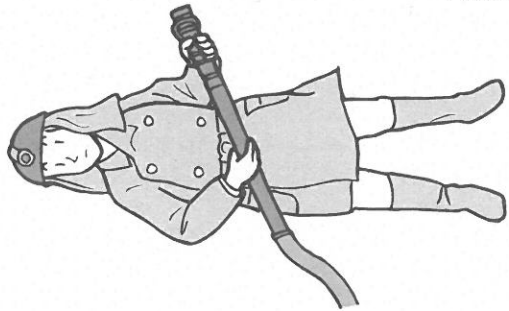
賛助会員一覧表

消防総務部
消防予警救企画調整担当部長

長 長 長 長 長
局 部 部 部 部
防 務 防 防 防 防
千 岡 志 打 二 城
福 田 手 明 宗 戸
好 俊 隆 茂 伸 秀
伸 樹 之 樹 介 行

平成25年7月1日現在

大 阪 市 消 防 局									
総務部	総務課	永峰 壽彦	昇彦	北 消防署	署 副署長(警防)	木 岡 幸男	村 雅隆	之 隆男	生 野 消防署
	企画課	森田 昭一	一	都島 消防署	副署長(警防)	上 島 豊紀	岡 林 見和	旭 消防署	
	人事課	松本 昌二	二		署	加 藤 正宅	三 宅 慎二		
	施設課	片山 雅好	一	福島 消防署	副署長(警防)	岡 島 慎二	上 岡 誠	城 東 消防署	
予防部	予防課	藤原 砂真	吾彦		署	野 尻 哲朗	城 東 消防署		
		祭田 康男	男		副署長(警防)	西 田 和夫	夫 史		
		一宮 義之	之		署	津 田 省三	渡 氣		
		橋本 仁司	司		副署長(警防)	岩 崎 克己	弘 彦		
警防部	警防課	小西 功一	功	中央 消防署	署	今 井 常弘	茂 樹		
		奥中 忍巧	巧		副署長(警防)	岩 谷 俊彦	唯 司		
		藤田 賢二	二		副署長(警防)	津 田 龍二	龍 二		
		酒井 教子	子		署	松 下 龍二	龍 二		
司 令	司 令 課	川原 弘人	人	西 消防署	署	藤 井 茂樹	信 介		
		堀 信之	之		副署長(警防)	北 山 雄司	雄 司		
		柳生 良二	二		副署長(警防)	小 鶴 政繁	政 繁		
		佐々木 務典	典		署	細 尾 稔	之 浩		
救急部	救急課	北 弘	弘	港 消防署	署	河 野 清英	英 春		
		辻 美都利	利		副署長(警防)	辻 本 清英	英 春		
		中脇 進一	一		署	渡 邊 淳	淳 二		
		辻 楚孝義	義		副署長(警防)	佐 々 木 修二	修 二		
消 防 学 校	消防学校	三浦 康正	正	大正 消防署	署	荒 木 勇司	勇 司		
		中尾 保誠	誠		副署長(警防)	細 見 孝司	孝 司		
		橋口 博之	之		署	藤 井 力	力		
		石田 潔史	史		副署長(警防)	赤 井 孝好	好 豊		
出 向 ・ 派 遣	消防庁	大塚 泰司	司	天王寺 消防署	署	西 村 美彦	美 彦		
		津川 健司	司		副署長(警防)	黒 田 孝	孝 男		
		徳野 健幸	幸		署	中 島 幸男	幸 男		
		植松 幸広	広		副署長(警防)	初 倉 優司	優 司		
消 防 学 校	消防学校	高田 勉一	勉	浪速 消防署	署	小 路 清隆	清 隆		
		山野 晃伸	伸		副署長(警防)	土 井 保章	保 章		
		杉 公裕巳	巳		署	森 田 和	中 村 学		
		峯 好伴	伴		副署長(警防)	山 下 毅	毅 則		
救 急 部	救急課	北野 光弘	弘	西淀川 消防署	署	大 野 亮三	亮 三		
		和田 康司	司		副署長(警防)	下 川 博史	博 史		
		大滝 康明	明		署	河 越 修一	修 一		
		貝本 義徳	徳		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
消 防 学 校	消防学校	住田 徹也	也	東淀川 消防署	署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		磯淵 久博	博		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
		福井 博司	司		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		三浦 敏也	也		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
出 向 ・ 派 遣	消防庁	出水 静雄	雄	東成 消防署	署	本 田 義博	義 博		
		後藤 知哉	哉		副署長(警防)	本 田 義博	義 博		
		吉見 克幸	幸		署	山 下 毅	毅 則		
		山 尾 幸司	司		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	北口 正紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		
		中村 勝仁	仁		署	山 下 毅	毅 則		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	大 野 亮三	亮 三		
救 急 部	救急課	鈴木 三千紀	紀		署	河 越 修一	修 一		
		鈴木 三千紀	紀		副署長(警防)	馬 木 重裕	重 裕		
		中村 勝仁	仁		署	寺 嶋 康賢	康 賢		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	馬 場 芳生	芳 生		
救 急 部	救急課	中村 勝仁	仁		署	西 嶋 剛	剛 榮		
		藤田 吉仁	仁		副署長(警防)	中 谷 義博	義 博		



(永沼)

消防署 ピッポー！ アフター

先輩の皆様、いかがお過ごしですか？
昨今の猛暑に体調は崩されていませんか？

今回は、この「清風」紙面を少しお借りしまして時代の流れを感じていただけたらと建て替えを行った庁舎の紹介をさせていただきます。

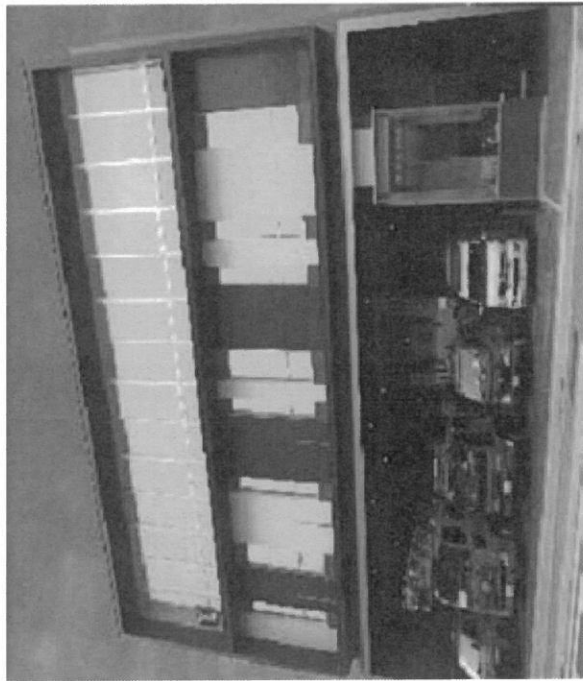
今回、ご紹介致しますのは今年の3月に竣工しました東成消防署です。

現在、大阪市は、耐震化を重点施策として進めています。耐震診断の結果、耐震性能の乏しい署所の耐震化を図っており、そのうち老朽化や狭隘化の著しい署は建て替えを実施しています。

昭和44年築の旧東成消防署も耐震診断結果が芳しくなく、近年では早々に建て替えるに着手しました。新しく出来上がった東成消防署(写真1・写真2)です。どうですか？結構立派でしょう？でも先輩の皆様方は、もしかしたら旧庁舎(写真3)の方が愛着あるかもしれませんね？

写真では見にくいかもしれませんが、新しい庁舎は4階建て延べ面積は3562㎡になります。(旧庁舎は3階建て延べ面積1006㎡)

迅速な災害出場が行えるよう、ガレージスペースの拡大や待機室拡充など執務環境の改善、市民のための相談スペース設置など様々な工夫がなされています。お近くに来られた際はぜひお立ち寄りください。



平成 25 年 4 月 東成消防署新庁舎業務開始

- 大正 14 年 4 月 大阪市域に編入され、東成区として発足
- 15 年 7 月 東成区を東・天王寺・北の三消防署が管轄
- 昭和 10 年 12 月 東成消防署を大今里西 3 丁目 6 番 7 号、現在の今里休日診に開庁
- 44 年 2 月 東成消防署を現在地(大今里西 1 丁目 27 番 13 号)に移転

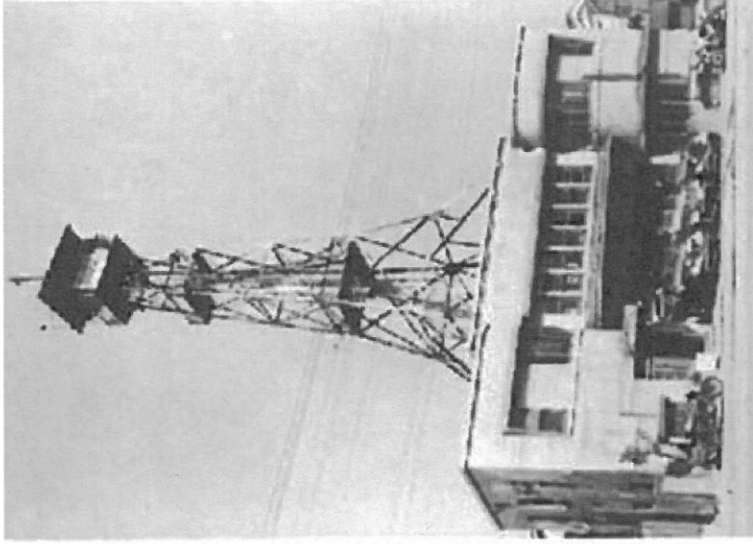
● 東成消防署の沿革 ●



▲ 昭和 44 年建築の東成消防署 (写真 3)



▲ 平成 25 年 4 月建築の東成消防署
鉄筋コンクリート・4 階建
建築面積 1350 平方メートル・
延面積 3562 平方メートル
署員 110 名・消防車両 15 台 (写真 1、2)



▲ 昭和 10 年建築の東成消防署 (写真 3)

いざという時のために

その他各種
損害保険全般

一般財団法人 全国消防協会 職員福利厚生事業

団体割引 30%、損害率による割引 10% 等適用

消防退職者医療保険

団体総合生活保険(医療補償)

募集期間：12月～2月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引当保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

お問い合わせは ☎ 0120-065-988 (平日 9:00～17:00)

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社 損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331 (代)

＜引当保険会社＞東京海上日動火災保険株式会社

朝日火災のスーパージャンプ(積立型火災保険)

(満期戻総合保険)

- ◎お住まいを多くの災害から補償
 - ◎満期返れい金プラス配当金のお楽しみ
 - ◎(個人契約の場合)満期時お受取金は一時所得扱い
 - ☆ 課税対象額=(満期返れい金+契約者配当金-払込保険料の総額+他の一時所得対象額-特別控除50万円)×1/2
 - (平成25年8月現在の税法上のお取扱)
- (お問い合わせ先)朝日火災海上保険株式会社

◇モデルケースの掛け金とご契約金額◇				専用住宅
保険期間	構造	ご契約の一例		満期返れい金
		建物	掛け金(一時払)	
6年	JH(木造)	1,500万円	4,499,850円	4,500,000円+契約者配当金
	JT(耐火)	1,500万円	4,492,200円	4,500,000円+契約者配当金

(注1) 契約者配当金は、剰余が生じたときにお受け取りいただくものであり、ゼロの場合もあります。
(注2) 木造住宅の場合には、耐火建築物・省令準耐火建築物に該当する建築物を除きます。

大阪支店 〒541-8508 大阪府大阪市中央区本町3-4-10 電話(06)6265-2811(直通)

叙勲受章者

平成24年 秋 の 叙 勲

おめでとうございます。
秋の叙勲受章者として、
次の方がその栄誉に輝きました。



◎瑞宝小綬章
元消防副司令
本城 光一 (70歳)

おめでとうございます。
第19回危険業務従事者叙勲受章者として、
次の方々はその栄誉に輝きました。



◎瑞宝双光章
元消防副司令
中居 徳夫 (65歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
米田 一 (65歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
中井 博幸 (65歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
底巳 裕一 (64歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
高橋 修 (68歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
好川 彰雄 (68歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
中村 教章 (68歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
志賀 幸雄 (67歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
倉澤 勝利 (67歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
佃 聡二 (67歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
平田 繁 (67歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
吉川 秀司 (67歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
浦田 敏一 (72歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
新宅 正忠 (72歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
柏原 政弘 (72歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
原山 謙治 (71歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
井上 照常 (71歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
中岡 靖博 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
杉山 洋佑 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
平田 武臣 (70歳)

平成25年 春 の 叙 勲

おめでとうございます。
春の叙勲受章者として、
次の方がその栄誉に輝きました。



◎瑞宝小綬章
元消防正監
竿下 肇 (70歳)

おめでとうございます。
第20回危険業務従事者叙勲受章者として、
次の方々はその栄誉に輝きました。



◎瑞宝双光章
元消防正監
萬谷 信幸 (63歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
松尾 政博 (64歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
山本 茂 (64歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
山本 征男 (64歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
菊井 美作 (64歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
谷口 光行 (64歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
内藤 耀一 (67歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
増井 隆司 (67歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
西村 徹 (66歳)



◎瑞宝双光章
元消防副司令
関戸 康通 (66歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
安達 良夫 (66歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
小川 豊数 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
村上 勝 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
宮本 政士 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
小川 賛 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
寺川 靖忠 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
高須 武雄 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
江村 育夫 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
井戸 翼夫 (70歳)



◎瑞宝単光章
元消防副司令
横谷 誠文 (70歳)

ご 寄 付

次の方々よりご寄付を賜りました。
厚くお礼を申し上げますとともに
ご報告いたします。

本城 光一様
金 三〇,〇〇〇円

中居 徳夫様
金 二〇,〇〇〇円

米田 一様
金 二〇,〇〇〇円

中井 博幸様
金 二〇,〇〇〇円

辰巳 裕一様
金 二〇,〇〇〇円

高橋 修様
金 二〇,〇〇〇円

好川 彰雄様
金 二〇,〇〇〇円

中村 教章様
金 二〇,〇〇〇円

志賀 幸雄様
金 二〇,〇〇〇円

倉澤 勝利様
金 二〇,〇〇〇円

佃 聡二様
金 二〇,〇〇〇円

平田 繁様
金 二〇,〇〇〇円

吉川 秀司様
金 二〇,〇〇〇円

浦田 敏一様
金 二〇,〇〇〇円

新宅 正忠様
金 二〇,〇〇〇円

柏原 政弘様
金 二〇,〇〇〇円

井上 照常様
金 二〇,〇〇〇円

中岡 靖博様
金 二〇,〇〇〇円

竿下 肇様
金 三〇,〇〇〇円

萬谷 信幸様
金 二〇,〇〇〇円

松尾 政博様
金 二〇,〇〇〇円

山本 茂様
金 二〇,〇〇〇円

山本 征男様
金 二〇,〇〇〇円

菊井 美作様
金 二〇,〇〇〇円

谷口 光行様
金 二〇,〇〇〇円

内藤 耀一様
金 二〇,〇〇〇円

増井 隆司様
金 二〇,〇〇〇円

西村 徹様
金 二〇,〇〇〇円

関戸 康通様
金 二〇,〇〇〇円

安達 良夫様
金 二〇,〇〇〇円

小川 豊数様
金 二〇,〇〇〇円

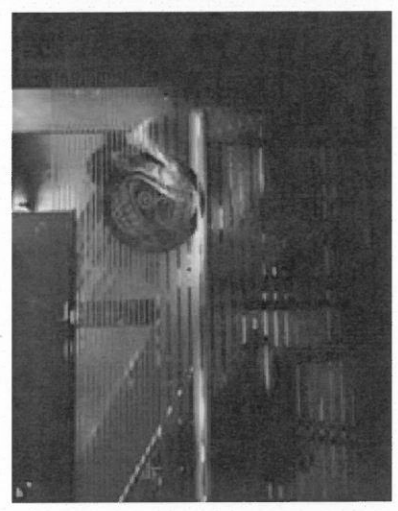
村上 勝様
金 二〇,〇〇〇円

宮本 政士様
金 二〇,〇〇〇円

小川 賛様
金 二〇,〇〇〇円

寺川 靖忠様
金 二〇,〇〇〇円

高須 武雄様
金 二〇,〇〇〇円



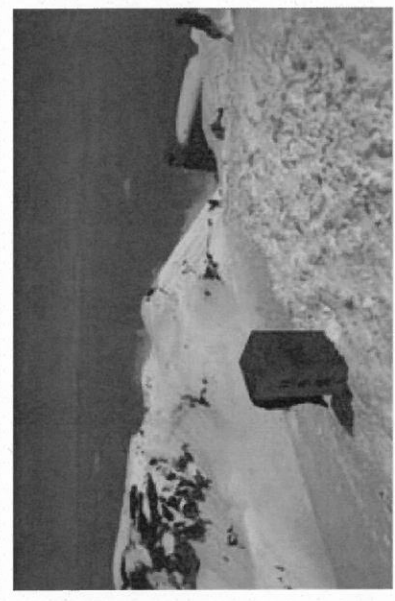
ラーメン屋



二人寝



外人

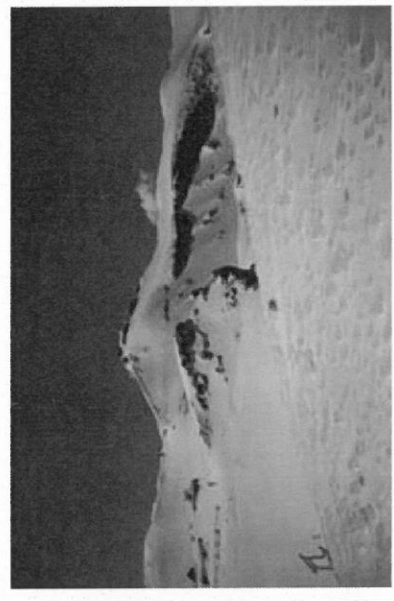


富士

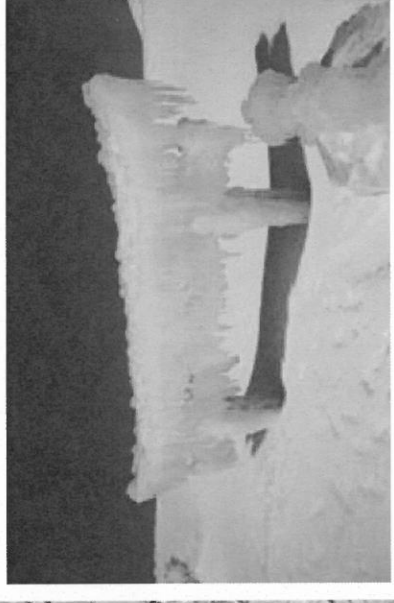


富士

祝 世界遺産登録



富士

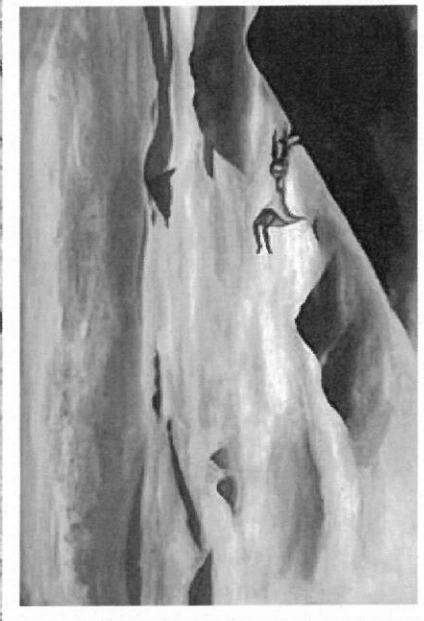


富士

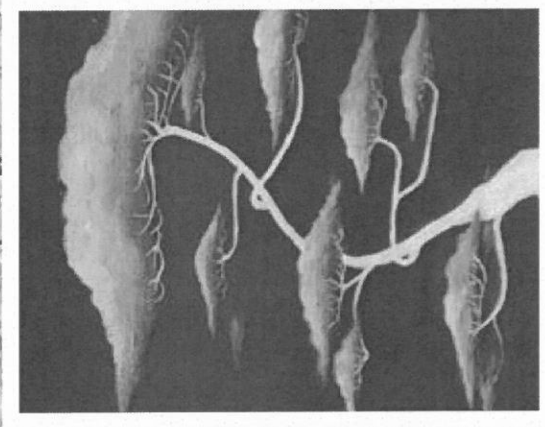
せいふう ギャラリー

辻本 博樹
瀬頭 順平
aune (オーネ)

三人展



雲海無題



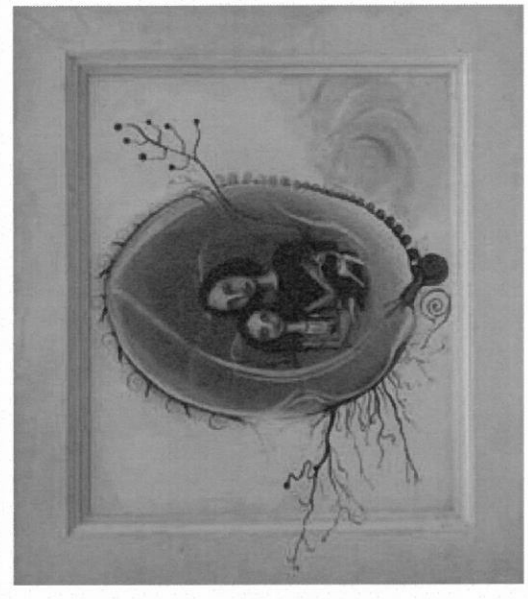
雲の樹



ラウニムムユー

【ギャラリー編集後記】

辻本氏は、昨年の消防局庁舎をはじめとする大坂の街並みに魅き、この夏は、世界遺産登録に沸く富士山を取材されました。
瀬頭氏の作品「西海岸」は、今春コミカミノルタオトプシニオに入賞され、今年度の大賞（賞金百万円）にノミネートされています。
ともに気鋭のアマチュアカメラマンであり、本紙のために撮り下ろした原稿をご提供戴きました。
aune氏は、画家を主軸とし、ライブパフォーマンス、バンド活動など音楽制作の分野でも幅広く活動される新進のプロの芸術家です。今回、作者の特別のご厚意で紹介させていただくことになりました。プロフィールなど詳細は、オフィシャルサイト（<http://auneweb.com/>）をご覧ください。
上段は辻本、第2・3段は瀬頭、第4・5段はauneの各氏による作品です。



幸せの一滴



女無題

遙かなる旅路

逃げ惑う
黄色い歓声を追っかけ
砂浜を駆け上る白波と
手招きしつつ戯るる少女達を
冷めた目で俯瞰していても
時として
規算がしびれ
何時しかひとり瞑相郷を
さ迷う時がある
それは木の芽時分の春愁であつたり
枯葉散る晩秋の憂愁であつたりもする
ふと自らをみつめ天を仰ぐ
娑婆気が押し寄せくると
いつも海辺に救いを求めるのだ
きつと
僕は弱虫なのだろう

どこまでも無限という時の流れに
線分の区切りをつけた厩
それは
季節とともに生活にめり張りをつける
先人のすばらしい知恵だ
「今日という日は
自分の人生にとつて
初めて出会ふ日であり
また決して再び出会う
ことのない日である」
そして
全ての人に新しい 平等な空間である
今日 今ほど大切なものはない
〈今日の一日は 明日という日の
一日分以上の価値がある〉…と
一日一刻その積み重ねの上に
夢の華がさく

人は知らぬ間に
自分自身の歴史を築いている
過去は変えられないが
未来は自分でつくるもの
何かをやり遂げるには
人一倍の強い信念と執念が肝要だ

厩は一年を区切りに新たなスタートを
切れる
また
一年を数年の価値ある人生に生きる人
もいる
昔から
『一生空しく過して晩歳悔ゆること勿
れ』と

池崎 政孝(平成12年3月退職)

哲人は口が酸っぱい
人生とは
幸せと不幸との戦いだ
勝たねばならぬ
いや 勝ち抜くことが人生だ！
更に
人生には逃げられない道がある
それぞれの宿命であり
未来も確かな保証などない
青春の逃げ足もまた早い
そんな風に
ままならぬ人生の
生老病死は人のサタメ
『生を受け 老いて病になり やがて
死を迎える』

人生の流転の行方は誰人として
闇の中
闇に生まれ闇に没していく
この諸行無常の現実には 厳しく
一生を影の如く付きまとう
た
今日も生き抜く以外に道はない
誰人として 最後の一步まで
自分の力で 歩まねばならぬ
『僕は『今わの際』何を伝えた
らいいだろう』…
「人は心を『空』にできるとき
幸せを感じる」という
波間にゆるる浮子を 一心に見
詰める釣り人
競走馬に声をからし叫んでいる
人
パチンコで大量の玉が流れ出て
いる人

また
ベンチの片隅で愛をささやく恋人達
更にさらに
好きな絵画に魅せられ 想いが画中の
真中をさ迷っている人……
そんな夢中になれるひとときの
刹那せつなが幸せの絶頂かも知れない
だが
そんな幸せは 決して長続きはしない
年ふると 誰しも自然と対話したく
なる
変わらぬ自然と 何を語れるのか？
想いは人の数ほどある

冬山に挑む人がいる

物言わぬ厳しい雪山に 氷壁に魅せら
れ 何を会得するのだろうか
人それぞれに幸せ感が異なる不思議
また
岐路に立たされ 一人茫然目失したとき
心を『空』にできる人は その履歴が
巡りきて
風がそつと背を押してくれるにちが
い
すると
人生の袋小路をどう抜け出ればいいのか
自ら悟りに入るだろう

「流れゆく時は道に似ている」とか
されど道のように元に戻れない
なぜか
喜びよりも哀しみの方が後まで心に残
るらしい
天空を見詰めていると
か細い秋の陽射しが時を優しくゆり戻
してくれる
淡い青春の想い出を―

木々は思い思いに冬支度を整えている
そんななか樺の梢が赤く色付き
ハッ！ と何かに驚いて
頬を染めた少女のように
初々しい色だ
「様に紅葉しないところがいい

都会には自然がないというが
大自然はかりが自然ではない
都会にも小さな自然はある
雑草も生えている
生活に追われ見ようとしなだけで
「生きることは 待つことだ」
冬に春の到来を！
裸木を見ながら花の盛りを―
そして何よりも
悲しみを癒す希望を！！

吹きすさぶ寒風の中
冬枯れの地にべばりつく座葉がある
『ロゼット』と呼ばれ
その見事なまでに身を低くする
タンポポ等
葉を放射状に広げ 陽光を浴びている
植物でさえ生き抜く知恵をしぼっている
何があつても
虚しい後悔を重ねゆく
蒙昧な人生に陥つてはいけない！

ふと我に返ると
時の流れは日々加速をますばかり
「時折あくせくした生活から離れて
『樂觀的に生を見極める興義』を学び
たい」もの
人生は短く そして長い
子供の頃
「日が何んとゆつたり長かつたこと
しかし「加齢とともに一日は長く一年
は早い」…
年ふるにつれ
気付いた時には
もう時は速度を増し
やがて時に追いつかずに生きていく
絶頂の時は『時よ止まれ』と祈り
下降の時は『時よ急げ』と祈る
勝手の祈りが交錯する日々……
そんな時の流れに耳を澄ませながら
今ある日々を全て喜びに変えよう

そつと世相を垣間見れば
近頃は日々が目まぐるしく 世間に話
題が多すぎる
毎日どこかで「泣き 笑い そして嘆
き」等々で
月日が流れていく
何があつても驚かない
人々が悲しみに慣れつになつている
よくいつたもので十年一日の如しだ
そうだ！
グジグジと愚痴つても 何んの解決に
もならない
「人間の最も貴重な宝とは『希望』な
り」と…

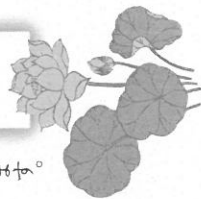
さあ
「何時だつて 今が一番若い」
一度しかない
自分自身の人生である
前途に希望を堅持し
今日を努力で重ねゆこう
人生も一幕の芝居
だれもその舞台から降りられない
代役はいないのだ
天のキリストに熱演で答えなければ
「生きる証」は残せない
どんな逆境にも負けない朗らかな人生
でありたい
人生とは幸福になることだ
先人曰く『喜びの声を発すれば 喜
びの人となり
悲しみの声を発すれば 悲しみの人と

なる』
努めて歓喜の声を発し 幸福な人生
を送ろうと……
男の生き様としては
生活のとりこになつてしまふ
自分を捨て
一歩深く人生を見詰め直そう
瞑想郷に入るのも
娑婆気が押し寄せきようとして
それは自分自身の心の中のできごとで
ある
そして再び

後を振り返らず
男ならいつも愛とロマンを
希望の彼方に向つて
ただただ進む以外に道はない
嗚呼！
男の人生つて切ないほど哀しい
遥かなる孤高の旅人だ――
※瞑想郷：眼前の境界を忘れて
思いをめぐらす世界
※娑婆気：名誉や利益から離れない心
※歳分：直線上の二正間の限られた部分
※晩歳：年老いた時 晩年
※蒙昧：知識が低く道理に暗いこと

黙 禱

(平成24年度)



次の方々がご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

檜崎	浩二	殿	(享年83歳)	平成24年4月2日没
林	忠雄	殿	(享年82歳)	平成24年4月14日没
藤井	武	殿	(享年98歳)	平成24年4月28日没
岡本	正義	殿	(享年89歳)	平成24年5月14日没
花岡	数義	殿	(享年66歳)	平成24年5月16日没
上村	一	殿	(享年82歳)	平成24年5月26日没
市来	稔	殿	(享年87歳)	平成24年5月27日没
道木	孝司	殿	(享年61歳)	平成24年6月11日没
大塚	勇	殿	(享年86歳)	平成24年7月10日没
前川	大恵	殿	(享年66歳)	平成24年7月16日没
堀内	寛	殿	(享年76歳)	平成24年7月27日没
林	武司	殿	(享年83歳)	平成24年8月10日没
中西	富一	殿	(享年78歳)	平成24年9月9日没
岡本	正	殿	(享年80歳)	平成24年10月4日没
保地	黎明	殿	(享年83歳)	平成24年10月7日没
木村	清	殿	(享年90歳)	平成24年10月15日没
山下	茂光	殿	(享年89歳)	平成24年11月13日没
宮本	勝	殿	(享年90歳)	平成24年11月18日没

江子	保三	殿	(享年87歳)	平成24年11月26日没
奥野	宗和	殿	(享年73歳)	平成24年12月28日没
伴田	明道	殿	(享年86歳)	平成25年1月1日没
上田	稔	殿	(享年66歳)	平成25年1月7日没
吉尾	弘	殿	(享年86歳)	平成25年1月22日没
森	新太郎	殿	(享年93歳)	平成25年1月26日没
森	賢次	殿	(享年65歳)	平成25年2月1日没
中田	勝	殿	(享年70歳)	平成25年2月2日没
中島	章	殿	(享年89歳)	平成25年2月3日没
岡	敏夫	殿	(享年86歳)	平成25年2月6日没
小坂	廣司	殿	(享年88歳)	平成25年2月24日没
荒木	昭三	殿	(享年86歳)	平成25年2月27日没
辻井	孝一	殿	(享年75歳)	平成25年3月5日没
廣瀬	喜久雄	殿	(享年83歳)	平成25年3月16日没

【お願い】

万一、会員様にご不幸がございましたら
お手数ですが、清風会事務局まで
ご一報下さい。
弔電等を手配させていただきます。
TEL 06-6444-1215